

キンダーブック2 8月号



今月はきりんさんが、わにさんにお祭りの屋台の食べ物を渡しています。綿あめに焼きそば、チョコバナナ、どれもおいしそうですね。お祭りで食べたことがある物、食べてみたい物などに話題を広げると、お祭り気分が盛り上がりますよ。表紙をヒントにお祭りごっこをしても楽しそうです。

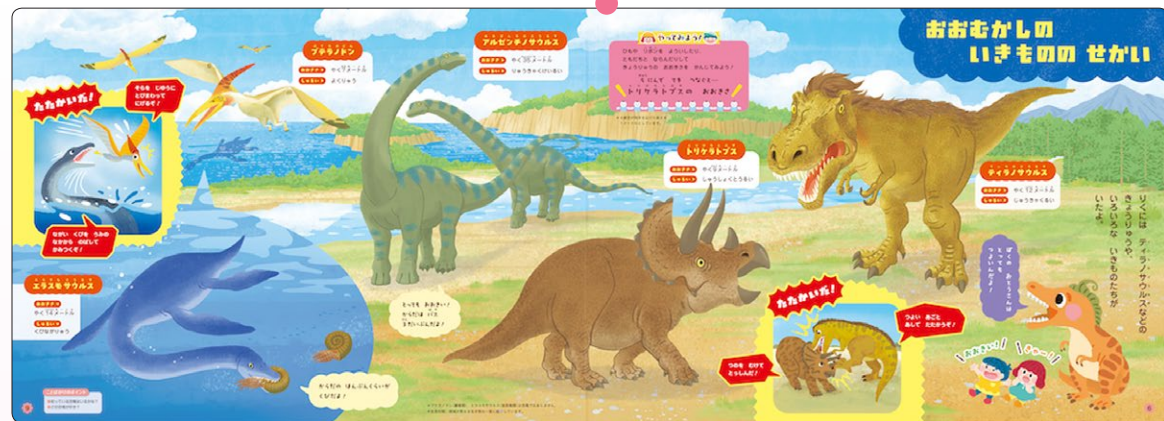


★ かつこいい！ きょうりゅう ★

ねらい 大昔にはさまざまな生物がいたことを知らせ、恐竜や図鑑への興味関心を促します。

まずは図鑑を知っているか問いかけてみましょう。図鑑は動物や昆虫、植物などさまざまな物事を知ることができる本です。図鑑の実物を見せながら、恐竜だけでなく新しいことを知って、調べる楽しさも伝えていけるとよいですね。

ページを開くと迫力ある恐竜たちのイラストが現れます。知っている恐竜や好きな恐竜などについて話し合ってみましょう。メジャーやリボンなどを用意して、恐竜の実際の大きさを体験すると関心がより高まるでしょう。



化石や恐竜の絶滅について伝えます。博物館についても知らせ、学びを深められる機会を作れるとよいですね。またオリジナルの恐竜を想像し、絵を描いたり、粘土などで作ったりしてもおもしろいですね。



★ 「ごめんね」って いったら ★

ねらい 「ごめんね」とことばで伝えたいせつさを知らせます。

つかい方のポイント けんかをしたときは、自分の思いを伝えながら相手の思いにも気づくことがたいせつです。ふたりの立場になって考えてみましょう。「ごめんね」と言い、相手の気持ちに寄り添うことでふたりの表情も変化し、仲直りすることができましたね。



★ そろば かけこの じゅつ ★

ねらい 楽しみながらからだを動かし、かけこの力やバランス力を伸ばします。

つかい方のポイント 裏表紙を見ながら実際にやってみましょう。保育者もいっしょに行い、手足が交互に出ているかを確認しながら、始めはゆっくり、徐々にスピードを上げていきましょう。繰り返すことで、楽しみながらかけこの動きを習得していきます。



「キンダーブック2」を 保育にご活用ください！

絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
かんざつ 身近な不思議を知ろう 「かっこいい！ きょうりゅう」	- 大昔にはさまざまな生き物がいたことを知る。 - 図鑑に興味をもつ。 - 自分のイメージを絵や立体物で表現する。	- 子どもの気づきに共感しながら誌面を読み進め、恐竜について知らせる。 - 恐竜のほか、植物など身近な物の図鑑を用意し、保育者が紹介することで、調べることの楽しさを伝える。 - イメージを表現するのが難しい子どもには保育者が聞き取りをし、イメージを具現化できるよう援助する。	環境 表現	- 思考力の芽生え - 自然との関わり・生命尊重 - 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 - 豊かな感性と表現
うんどうあそび 楽しくからだを動かそう 「そろば かけこの じゅつ」	- 保育者の動きを見てまねする。 - 手足を交互に前後させながら、その場かけこをやってみる。	- 保育者が手本を見せながらいっしょに取り組むことで理解を促す。またその際には子どもと同じ向き又は鏡になるように動き、子どもが理解しやすいよう工夫する。 1回目は足のみ、2回目は手のみ、3回目は手足同時に動かすなど、スモールステップを意識しながら活動を進める。	健康 人間関係	- 健康な心と体 - 自立心 - 思考力の芽生え

毎月運動遊びの 動画が見られます！



<https://www.instagram.com/p/CSBHWZhpQSJ/>

